

山伝宝 妙経寺だより

令和四年お盆号
(令和四年五月)



日蓮宗では、立正安国お題目結縁運動を展開しています。
お互いを敬い合い、命の尊さに気付き、社会を明るくすることが運動の目的です。



ご挨拶

檀信徒のみならず、こんにちは。妙経寺副住職の滝澤です。

コロナ禍が始まって早いもので丸2年以上が経過し、今年もまた暑い夏が近づいてきました。

「屋外ではマスクを外してもいい」という報道や、外国人の旅行客の受け入れを再開するといった報道もありますが、このままコロナは終息に向かつていくのでしょうか。長らくマスク生活をしてきたせいもあり、マスクを外しているという「恥ずかしい」と感じてしまうのは私だけではないのではありません。

細菌が口から体に入るのを防ぐ「マスク」ですが、本来は多少の細菌が入ることで人間は自然に免疫を作っているのですが、その機能が失われてしまっている部分もあるようです。心理的な面や、子どもの発達の面でもマスクの影響は大きいように感じます。早く、正々堂々とマスクを外せるようになるといいですね。

身延大会に参加してきました

今年の身延大会は2年ぶりに檀信徒の方々の参加が認められての開催となりました。

当妙経寺(並びに青梅積善結社)からも総勢9名で参加をしてきました。本来は1泊2日での開催ですが日帰りで参加をし、早朝の集合でしたが無事に行ってくることができました。ご参加いただいた方々、大変お疲れ様でした。



施餓鬼 大法要

7月2日(土)

お盆の行事「お施餓鬼法要」を7月2日(例年7月の第一土曜日)に執り行います。

今年も昨年と同様、皆さまにもご参列いただいていたの開催となりますのでぜひお参りいただければと思います。

この妙経寺便りに「お施餓鬼法要のご案内」を同封しております。檀家さんに限らずどなたでもお塔婆のお申込みが可能です。また、当日もたくさんの方のご参列をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

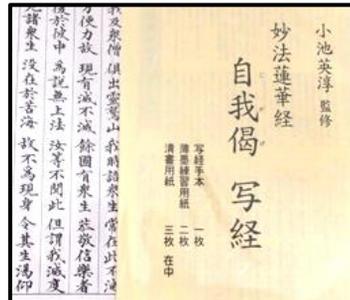
※駐車場には数台程度しか駐車できませんので近隣のパーキングのご利用をお願いします。

写経を始めてみませんか

みなさん、写経に取り組んでみてはいかがでしょう。

写経とは、文字通り「お経を書き写すこと」ですが、「コピー機」などが無い時代には、お経に限らず必要なものは全て手書きで書き写してきなりました。お釈迦様が亡くなってから長い年月の間、書物を書き写すことで教えを受け継いできたわけですが、いつしか写経をすることで「功德が得られる」と考えられるようになっていったようです。

白紙の用紙に経文を書くのは難しいと思われるかもしれませんが、薄く書いてある上からなぞる形のものもありますので、初めての方でも取り組みやすいかと思えます。とりあえず「お自我」から初めてみてはいかがでしょう。お寺にいくつかご用意がありますのでお声がけ下さい。



聖語

けわしき山あしき道つえをつきぬればたおれず
 弥源大殿御返事
 文永十一年(1274年) 聖寿五十三歳

信じるようになったのは、不思議の因縁であるとしていよいよ信心強くしたならば靈山浄土のみ仏のもとに導いていただけることと諭されています。

仏くようの功德 莫大なり
 法華証明鈔
 弘安五年(1282年) 聖寿61歳

皆さんが「仏さま」と呼ばれるのはどなたですか? お釈迦さま、阿彌陀さま、薬師さま...? しかしその中でもご先祖さまを「仏さま」と呼んでいません。実はこの思いは先祖供養に重きを置く日本人の宗教観の表れといわれています。その「ご先祖さま」があつて安らかに過ごせるのは、ご本仏釈尊がご先祖さまを見守り導いて下さっているからなのです。皆さまがお盆で「ご先祖さま」を供養することはそのご本仏釈尊にも届いており、想像を遙かに超える大いなる功德をご自身に積んでいることにもなるのです。